

交野市教委ニュース

第171号(令和4年11月28日発行)

令和4年度大阪府中学校生徒会サミットが開催されました

11月12日(土)に「令和4年度大阪府中学校生徒会サミット」が開催されました。このサミットは生徒の自主的・主体的な姿勢を育み、各中学校における生徒会活動の充実を図ることを目的として、平成21年度から開催されており、今年度で14回目となります。実際に大阪府のさまざまな施策が議論される大阪府議会議場において、47校(オンライン参加15校)の代表が真剣に議論しました。「大阪からいじめをなくすために～一人一台端末時代、大切にしたいことは何?～」をテーマに意見交流が行われ、交野市代表として参加した第四中学校生徒会役員の4名も、積極的に意見発表する姿がありました。

一人一台端末の良い使い方、良くない使い方

前半の全体意見交流の場では、一人一台端末の良い使い方、良くない使い方にはどのようなものがあるかを交流し、多くの問題が提起されました。

【良い使い方】

- ・教科書やノートのように勉強のために使う。
- ・予定表の共有をする。授業の板書を送ってもらう。
- ・アンケートをとったり、健康観察で使ったりする。
- ・遠くの人とコミュニケーションをとるために使う。

【良くない使い方】

- ・授業中にゲームをしたり、ユーチューブを見たりする。
- ・勝手に写真を撮って、拡散する。
- ・チャットで人を傷つける言葉を使う。



いじめを起こさない学校づくりのために生徒会ができること

後半のグループ協議や全体協議では、生徒会として何ができるかというテーマで議論が行われました。

- ・何かしたらダメっていうよりも、自分でしっかり気づくことが大事。
- ・みんなが納得してくれるようなルールをつくって楽しめるようにしたい。
- ・まわりで注意する人を増やしていかななくてはいけない。
- ・ルールを守るために目的をはっきりする。
- ・自由の時間をつくる。・全体集会で呼びかける。
- ・良い使い方の例、良くない使い方の例の動画を作成する。
- ・興味をひくような劇をする。・ポスターをつくって広める。
- ・給食の時に、生徒会でドラマをつくって流す。

など、多くの考えが出されました。そして、大阪府からいじめをなくすために、今回話し合ったことを各学校、各市町村で広めていくことを確認しました。



2時間という限られた時間でしたが、多くの課題とその克服に向けて自分たちができることを真剣に話し合うことができた有意義な時間となりました。

本市代表として参加した第四中学校生徒会役員4名も、グループ協議等において積極的に発言し、第四中学校生徒会として何ができるかを意欲的に意見交流していました。